

資料 3

第6回「臼杵市の未来を考える中学生と市長との意見交換会」

日時：令和5年11月1日 10：20～12：10（3.4限目）

場所：臼杵市立西中学校 体育館

- 目的：1. 自分たちが暮らす臼杵市について、自分との関りや興味・関心のあることや他地域での取り組みを参考にすることで、臼杵市の魅力を再発見し、町おこしの方法を考える。
2. 総合的な学習と社会科の学習を関連付け、その成果として、これまでの学習した内容を、工夫して相手に伝わるように発表する。
3. 自分たちが調べて考えた内容を市長と意見交換する中で、探究的な課題としてさらに発展させ、今後の臼杵市について考え続ける態度を育成する。

地域の未来を担う子どもたちに臼杵の現状や魅力、未来像を考えてもらおうと、平成30年から始めた

「臼杵市の未来を考える中学生と市長との意見交換会」

今年は、11月1日に西中学校で開催され、3年生127名が総合的な学習の時間において、自分たちが

調べて考えた内容を『少子高齢化チーム』『農漁業チーム』『未来活性化チーム』『観光業チーム』

『現状活性化チーム』『学校林・環境チーム』『外国人交流チーム』の7チームから市長に提案し意見交換をいたしました。

（7チームからの提案タイトル・内容は右欄に掲載）



『少子高齢化チーム』

習い事・塾の公費負担（少子化チーム）

子どもの教育にかかる費用を軽減し、少しでも家庭の負担を減らすために目的としています。また、子どもたちが塾に通ったり、臼杵市内で開設されている習い事を通して、さまざまな経験を積む機会をつくり、心身の成長や学力向上につなげて、将来臼杵市を担う人材を育成するためもあります。

シニアカフェで多世代交流！（高齢化チーム）

高齢者と若い人たちの交流の機会をつくり、相談し合える空間があればいいなと思ったからです。シニアカフェを具体化する際、趣味が仕事になれば高齢者も続けやすいのではないかと思います。例えば、カフェの中で、高齢者による趣味や特技などを教え合う会を設けたり、若者と一緒にできるもの（手芸など）を教えながらつくったりすれば楽しいと考えました。さらに、つくった物をカフェの中で販売して利益となれば、それが高齢者の生きがいや働くモチベーションにもつながりますし、高齢者の労働機会の提供により、住みやすい臼杵市になることにつながると共に税収アップも見込まれる可能性もあると感じました。

『農漁業チーム』

臼杵の農漁業のこれからの担い手の確保について

臼杵市は、土づくりも含めた有機農業・ほんまもん野菜などの農業やタチウオ、カマガリ、カマスをはじめとした美味しい魚の漁獲量も多く漁業も盛んです。日本や世界に誇れる農漁業だと思います。しかし、人口の減少・収入の不安定さなどで担い手が減ってきている現実もあります。ゲストティーチャーに来ていただき、臼杵市の農漁業の今を知り、これからの臼杵市の農漁業を支える担い手を確保するために必要なことを考えました。これからも持続可能な農漁業の仕組みの一助になればと思い、提案します。

『未来活性化チーム』

クリーンで若者も集まるイベントへ

「臼杵市のイベントをもっと広めたい」「将来的にもっとより良い祭りにしていきたい」そして、「未来の臼杵市が活気に溢れた街になるように」という思いから、今の臼杵市にはないけれども「こんなのがあったら面白い」という発想で考えました。臼杵市を代表する祭りと言えば、竹宵祭り。祭りのときに出るゴミをポイ捨てさせず、若者がもっと集まる祭りにするために必要なことを自由な発想でもって提案できればと思います。

『観光業チーム』

①臼杵市の街中にある空き家をリフォームして街の発展につなげる活動を提案します。

②臼杵市に関連する特産物やお土産の買える自動販売機を街中や駅に設置する活動を提案します。

③1泊2日の臼杵市バスツアーと名づけて♡のseasonバスツアーを提案します。

①全国各地の問題として空き家が増加していることを知りました。臼杵市も同じ状況のようです。空き家はそのまま放置しておくと、倒壊、害虫が発生するなどの問題が起こるため、街の復興と結び付け、臼杵の中心である八丁大路にある空き家をリフォームしてお店を誘致したり、若者を中心に貸し出したりすれば、町を発展させ、さまざまな年代が訪れるのではないかと考えました。

②臼杵市の土産物屋も高齢化が進み、やむなく店を閉めるという話を聞きます。臼杵市を訪れる観光客が思うように土産を買うことができているのか心配しています。そこで24時間365日いつでも買える自動販売機を駅や観光地に設置すれば、観光客も喜び、臼杵のPRにもなるのではないかと考えました。

③臼杵市を訪れる観光客は・団体で来る観光客が少ない・日帰りの観光客が多いなどの傾向があるようです。バスツアーを企画することで、一度に多くの観光客を呼び込める、宿泊のツアーを考えることで臼杵の経済がより活発になる。風光明媚な自然を季節ごとにルートを設定したり臼杵の祭りなどとコラボすれば臼杵の町も活気づくのではないのでしょうか。

『現状活性化チーム』

磨けば輝く「ダイヤモンドの原石」有効活用

①ほっとさんの全国展開

②臼杵産フルーツを活用した地ジュース蔵

「臼杵市にもっといろいろな人に来てもらいたい。」「臼杵市に定住する人が増えてほしい。」という願いのもと、今ある臼杵の魅力を活用できないか考えました。

①臼杵の魅力である有形文化財の数々を効果的に宣伝する「宣伝大使ほっとさん」の活動の幅をより広げていきたいという考えです。全世界の情報媒体であるYoutubeでほっとさんチャンネルを設立することで、全世界に愛されるコンテンツとしての立場を確立し、「会いたいに会える街うすき」を目指します。また、ほっとさんの活動は市民で支えるという協力体制（市内小中学校に動画の内容をアンケート形式で調査など）をつくり、「すきを生み出す街うすき」も同時に目指します。

②臼杵の地酒を活用した「地酒蔵」という活動がとても魅力的と考えました。しかし、子どもやお酒が飲めない大人の方は対象外であるため、誰もが楽しめるイベントにするためにも臼杵産のフルーツを活用した「地ジュース蔵」などのイベントを実施することで、ユニバーサル化した催しになると考えました。

『学校林・環境チーム』

①臼杵市に新たにキャンプ場を設置することを提案します。

②環境についての絵本を観光交流プラザなどの臼杵市の公共施設においてほしい。

③ゴミを減らす取り組みとしてゴミ箱を浜辺に設置したり、回覧板等でゴミ問題の意識を高く持ってもらうように提案します。

①臼杵市は高齢化が進み、人口も減ってきています。そこで臼杵市に住む人（若い層）を増やすため臼杵市の豊かな自然を活かして、山にキャンプ場を設置し、若いお客さんを増やしてそのタイミングで臼杵の魅力をアピールして臼杵の良さを知ってもらい、住みたいと思ってもらうため。

②童話をもとに、マスコットなどを使って、難しく感じる環境問題について身近に感じてもらい、興味を持ってもらうため。

③世界的に問題になっているごみ問題を市民に知ってもらい、ごみを減らす取り組みや臼杵市の現状、環境面などについて考え、臼杵市の環境をよりよくしていくため。

『外国人交流チーム』

お互いの文化をシェアしよう

臼杵には姉妹都市もあったり、どの国にも負けない「臼杵ならでは」で満ちたものがたくさんある！でも、それを知らない人、仕事のために臼杵にいる外国の人もいたり、わざわざ外国から臼杵に観光に来る人もいたりします。その、臼杵の魅力とさらに外国の文化を取り入れて進化する臼杵を繋ぐ役割を私たちが（侍達・サムライズ）として、文化を紹介したり、文化を知ろうとしたり、文化を取り入れようとしたりする第一歩となる提案をしたいと感じたからです。未来の臼杵が、さまざまな文化が繋がる都市になればと思っています。